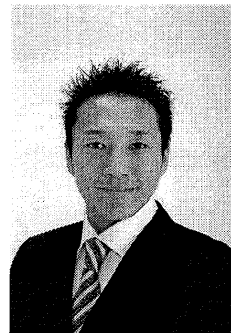


# 平成 21 年第 1 回定例会 議会報告

(平成 21 年 2 月 24 日～3 月 23 日)

かみくら

## 秦野市議会議員 神倉ひろあき



●2月24日から始まった1月定例会は、市長の施政方針を皮切りに代表質問、一般質問、常任委員会、予算特別委員会と続き、最終日は委員長報告等をもって3月23日に終了しました。以下、報告いたします。

● 3月3日の一般質問は、「子ども達の体力と生活習慣等について」と「高齢者福祉について」を取り上げました。

### 1. 「子ども達の体力と生活習慣等について」・・・全国体力テストと生活習慣の関連です。

質問 文科省が、昨年、小学5年生と中学2年生の全員を対象に「全国体力・運動能力・運動習慣等調査を初めて実施した。調査は、握力、50m 走、ソフトボール投げ、などの実技に加えて、生活習慣、食習慣、運動習慣に関するものである。全体的には、体力水準のピークだった昭和60年度の平均値と比べて、体力低下が著しかった。

また、都道府県別では、本県の小・中学生は、男女とも下位を低迷している。注目は、体力と生活習慣・食習慣・運動習慣の関連で、「子ども達の体力は、総運動量と望ましい生活習慣に直結している」という結果が出ていることである。

①本市の調査の参加率。②全国平均との比較。③体力・運動能力・生活習慣の相関。について伺いたい。

①の回答：小学校2校（15.4%）、中学校1校（11.1%）と高い参加率でない。（全国：小 72.5%、中74.4%）。

②の答：小5では、総合的に、男女とも全国平均値をやや下回る。中2では、男女とも全国平均値を上回る。

③の答：運動が、好き、得意、体力に自信の3項目で、小5は、全国平均より低く、中2は高い。一日の運動時間は、小5、中2とも全国平均より高い。運動に取り組む姿勢と体力・運動能力の結果との関連性がある。その他、生活習慣も含めて、東海大学に分析を依頼している。



2次質問 ①. 体力低下の原因。②. 体力向上の為の施策。について伺いたい。

① の回答：遊べる場所の減少、習い事、テレビゲーム等の増加、遊び仲間の減少、である。

②の回答：小学校では、運動、食事、睡眠のバランス、異なる学年間の交流、外遊びの場作り等を進める「子どもキラキラタイム」の推進を3カ年間。中学校では、健康・体力づくりをカリキュラムに位置づけた。新体力テストを年間計画に取り入れる等の「かながわイキイキスクール」実践研究に取り組んでいる。また、スポーツ少年団、体育協会の活動もある。

要望 ①. 外遊びの場、体験の場、学びの場などを提供する「放課後子ども教室」は、上公民館の事業で始めたが、今後、保護者や地域に協力を呼びかけ他の小学校区にも設置し、子ども達の健全育成を図っていただきたい。

②. 体力テストの参加率は、国も県も7割を超えている。体力と生活習慣・食習慣・運動習慣の関係を明らかにするもので、本市の参加率は、あまりにも低い。子ども達の携帯依存等による生活習慣の乱れがクローズアップされている現在、教育委員会を中心に発展的な施策の実現に努力していただきたい。

### 2. 「高齢者福祉について」・・・介護施設の計画・人材確保と高齢者の医療費問題です。

質問 高齢化は、予想以上に進み、今後、高齢化率は、25%を超えると見込まれている。こうした超高齢化社会における福祉の抱える大きな問題は、認知症高齢者の急増、高齢者虐待、介護施設の人材確保、医療費等の問題である。財政逼迫の折に、予算が弱者から削減されると言う定説めいたものから脱却し、高齢者に優しい秦野市を目指してもらいたい。

①. 特別養護老人ホーム等の施設の整備計画。

②. 介護職員の人材不足についての認識及び対応。

③. ある年齢以上の高齢者に無料を含めた助成制度。について伺いたい。

① の回答：平成21年から3ヵ年間で、特別擁護老人ホーム59床、介護老人保健施設200床、認知症対応型共同生活介護36床、介護付き有料老人ホーム400床の計画がある。

② の回答：給与が他の業種に比べて低く離職が進み人手不足が深刻化している。本市では、賃金、労働環境等の改善がなされたか事業所の就業実態を調査し、介護報酬の改善に向け全国市長会等で国に働きかける。

③ の回答：増大する高齢者医療は、所得に応じて負担ということである。国では、全世代の医療を一本化し、都道府県レベルで運用するという医療制度の検討がなされている。



**2次質問** ①医療制度改革で、本市に2施設ある介護療養型医療施設が廃止されるが、どう対応するのか。

②人材不足を介護サポーターの養成により補う方法があるがどうか。

①の回答：2施設299床あるが、100床は、介護老人保健施設への転換。200床は、第4期高齢者保険福祉計画で介護老人保健施設の整備を計画している。

②の回答：人材育成に関する事業の必要性はあると理解している。

**要望** ①看護師等確保事業と同じように介護職員確保に係る施策を実施していただきたい。

②「白寿サポート」を目指し99歳からの医療費の無料を含めた補助制度の確立をお願いしたい。

### ●文教福祉常任委員会(3月5日)・・・給食費値上げ問題の審議内容。

・給食費を4月から月額400円値上げし、4,000円となることが、教育委員会で決議されたことに中止を求める陳情があり審議した。

神倉ひろあきは、はじめから値上げありきではないか・学校給食の問題は、当委員会の所轄であり、本委員会に説明する必要がある。・食材費削減の努力はしたのか。・「地域活性化・生活対策臨時交付金」等を活用した市の財源の活用ができたのではないかと等々の質問をし、

※社会情勢に鑑みて400円という大幅な値上げとなるので、時限的に市が半分の200円を補助するよう強く要望しました！



### ●予算特別委員会(3月11日、文教福祉分科会)・・・質問・要望事項

#### 1. 教育費

①教育費について・・・教育費は45.6億円で、総予算に占める割合は、11.21%であるのに議会において市長が教育施策しか述べてない。予算の背景である教育方針・基本目標・重点目標や新規事業を教育委員会自身が、議会で明らかにし、市民の理解を深めなければならない。

②スポーツ施設の管理運営について・・・総合体育館をはじめ指定管理者制度による運営を続けていたがこの度、市が直接運営することになった。運営上どんな問題・課題があったのかを質したが、明確な回答がでなかった。このような状況では、今後の管理・運営に疑問を感じる、しっかり総括する必要がある。

#### 2. 民生費

①一時保育事業補助金について・・・経済不況の影響で、保育のニーズがかなり高まっており、本町公民館や市役所の空きスペース等、一時保育の受け皿となる市の公共施設は、かなりあると思う。これらを活用し待機児童対策の一環としても、子育て支援を図るべきである。

②家庭保育委託費について・・・本市では、現在待機児童が94名いる。児童福祉法の改正により、国は家庭での少人数保育の普及を目指している。近隣でも実施している市・町がある。本市でも、「保育ママ」の研修を企画し、働くお母さんを支えると共に「子育て支援バンク」を考える等、待機児童対策にも有効な保育ママの普及を図るべきではないのか。前向きに検討願いました。

③こども館管理運営費について・・・旧青少年会館から子どもに特化した施設、こども館へ変貌したが、利用状況が少ないという。企画が乏しいのではないかと。いつ行っても楽しく、また来たくなるような年間プランを策定するなど、創意・工夫が必要である。そこで、こども館人材バンク(地域と協力し、学ぶ、遊ぶ、体験することを創意する人達を集める)等の創設を提案しました。

④児童館維持管理費について・・・市内には、19の児童館があり、8箇所の児童館の耐震に問題があるが、今回の予算に計上されていない。利用者が多い児童館では、1日約100人の子ども達が利用しており、非常に危険である。安心・安全確保のため、早急に対応するよう強く要望しました。

#### 3. 衛生費

①看護師等確保事業費について・・・深刻な看護師不足を解消するために、医師会と協力し看護学生に対し修学資金を補助する制度である。今後も医師会と連携を図り、離職した潜在看護師等を含めた、抜本的な人材の確保に努めるよう要望しました。

②感染症対策事業費について・・・新型インフルエンザの対応マニュアルや行動計画が、まだ作成されていない。有事があってからでは遅いので、国・県など関係機関との連携を図り、早急に対策づくりに入るよう要望しました。

●一般質問の詳細は、「秦野市議会HPにて録画配信しています。」是非ごらんください。

●今後共、神倉ひろあきは、一市民として、いま何が問題で、どんな課題があるのか、それをどう解決するのか、という問題意識を常に持ち、秦野市が、住みやすい街になるよう努力してまいります。

●ご意見・ご感想大募集・・・神倉ひろあき に対する、ご意見なんでもどしどしお寄せ下さい。

〒259-1322 秦野市渋沢 2-5-13 TEL & FAX 0463.88.3655 携帯:090-3533-8034

Eメール kamikura5@yahoo.co.jp 神倉ひろあき 平成21年3月定例会 議会報告